

一年を振り返り、子供達の目線に立った時に、まず思い起されるのは山科区での大麻所持による中学生逮捕の案件です。普通に生活していればまず接することがないであろう事件ですが、興味本位であるにせよ、断りきれなかつたにせよ、我々一般市民の想像をはるかに超える事件に戦慄を覚えたのは記憶に新しいところです。我々の眼と鼻の先での事件ですが、幸いにも大淀学区にはまだその触手に侵された子供はいないと聞いておりまします。しかしながら、いつも魔の手が子供達に襲い掛かるやも知れません。

小中学生は、今まさに児から青年の間にいます。自分が離せない子もいれば、目を離すことができるまでに成長した子まで様々です。どのような段階の子であれ、我々保護者はもちろん



大淀学区の皆様、地域諸  
関係の皆様には、平素より  
大淀地域生徒指導連絡協議  
会の活動にご理解ご協力を  
賜り、誠にありがとうございます。  
早いもので本年度も残す  
ところわずかとなりまし  
た。

我々大人が注意を怠ることなく、子供達をケアする必要があるのではないかと思います。

そのために、まず家庭での親の役割が重要であることは言うまでもあります。

親として子供を育てるにあたり、実践したい素敵な言葉があります。皆さんもどこかで一度は耳にしたことがあるのではないでしょ

うか。

乳児はしつかり 肌を離すな  
幼児は肌を離せ 手を離すな  
少年は手を離せ 目を離すな  
青年は目を離せ 心を離すな

大淀  
地生連協だより

子育て四訓、実践できる地域に

大淀地域生徒指導連絡協議会  
会長 藤下洋明



NO. 66  
平成 31 年 2 月 26 日  
大淀地域生徒指導連絡協議会



「いわゆる予測のつかない時代」の到来です。しかし、何があるうとも「わからない時代」であろうとも、子どもたちの未来は明るく輝いていなくてはなりません。人工知能の進化により労働の自動化が進み、子どもたちの65%が今は存在しない職業に就くとさえ言われていますが、今を生きる私たち大人が、しっかりと「いい力」を明確にして、「何ができるようになるのか」を見据えた「学び方」を「地域・保護者・学校」が創り伝え広がり、先を見通すことがますます難しくなりつつあると言われています。

ります。学校の教育の指針となる今回の学習指導要領の改定は2030年頃の社会を見据え、「学び」に上つてその先の「豊かな社会を創り出す」ために必要な大きな改革を試みていまします。2030年の日本ではますます少子高齢化が進み、65歳以上の割合が総人口の3割に達する一方で、生産年齢人口は6773万人まで減ると言われています。淀学区、淀南学区を合わせた大淀学区も例外ではなく、年々児童数、生徒数の減少傾向が進んでいます。また一方で、情報技術の進化によつて、グローバル化

淀地域生徒指導連絡協議会」を始め、明親小、美豆小の学校運営協議会、また、今年度からは大淀中学にも学校運営協議会を発足し、子どもたちの様子を共有し、子どもたちに「つけたい力を明確にして、地域、保護者、学校が連携・協働してつくりあげてきた教育活動の母体があります。今年度、大淀中学の生徒が体振の運動会や地域行事などにボランティア参加する様子が見られました。また参加した生徒の声に「この地域で大人になり、家庭を持ちたい」という声があり、私は率直に感動を覚えました。社会との関連を意識し

めには、もはや教育の主体者が「学校」のみの単体では不可能です。地域・保護者・学校が一体となつて教育の主体者となり、教育コミュニケーションを形成し、時代に対応できる、子どもたちの「資質・能力」を育んでもいく必要があります。それぞれの子どもが自分の人生を切り拓いていくために求められる「資質・能力」とは何かを、教育課程の中には明確にして具体的な教育活動として位置付けられないことはなりません。これから的新しい教育課程を社会に開かれた教育課程

平成30年度大淀地域生徒指導連絡協議会名簿

平成30年度 事業報告

出すことが必要です。学習の主体者は子どもたちであることは不易なこととして変わりないのですが、これから時代を担う子どもたちを力強く育していくためには、もはや教育の主体者が「学校」の外の単本で

「抜く力」の育みにこれまでにも増して、皆様のご理解とご協力を頂きたく存じます。子どもたちの地域で輝く未来のために何卒宜しくお願い致します

# 「社会に開かれた 教育課程の実現に向けて』

## 美豆小学校 校長 高嶋 登

帰り道 いつしょに帰ろう 友だちと  
スマホより あなたの顔見て 話したい  
「助けて」と その一言で 人生変わる  
声かけて 心ボカボカ あつたかく

顧問	淀連合自治会長 淀南連合自治会長 淀社会福祉協議会会长 淀南社会福祉協議会会长	西庄英長 野地原繁 林重宣	晴男 繁宣
	大淀中学校	明親小学校	美豆小学校
連合自治会		西庄英晴	野地長男
少年補導委員会		安井勉	松岡太樹雄
交通安全推進委員会		尾関忠	薄衣誠
防犯推進委員会		横山正樹	岡本征平
地域女性会・婦人会		堀池美津子	西澤多恵子
保護司会	柳田彰宣	柳田彰宣	家村郷司
民生児童委員協議会		川人洋一	大西豊子
学 校	校長 教頭 生徒指導部長 補導主任	脇坂満 油谷昇 岡本聖史 栗山俊英	緩詰研二 生石正觀 前橋壯 高嶋登 佐久間寧子 小林拓弥
P T A	会長 副会長 地域委員長	藤下洋明 吉田直子 谷佳代子 米田千登勢	兒玉智文 平田和美 山田芳美 佐野夢花
役 員 会	会長 副会長 庶務 会計 監事	藤下洋明 脇坂満 油谷昇 安井勉(淀支部)・松岡太樹雄(淀南支部)	藪仲仁司・佐久間寧子

## 平成30年度 事業報告書

月 日	内 容
6月19日	役員会・総会 (事業・予算計画, 委員役員確認等)
7月2日	京都市地生連総会・研修会
7月27日	児童会生徒会交流会
7月～9月	大淀地生連標語募集
8月4日	淀南夏祭りパトロール
9月下旬	大淀地生連標語ポスター製作・配布
10月19日	P S T クリーンキャンペーン 地域清掃活動
10月27日	音楽の集い
11月2日	與杼神社祭礼パトロール
12月5日	家庭地域教育学級(ヒューマンタイム講演会) 「前例がなければ 作ればいい」
2月25日	京都市地生連総会・研修会
2月26日	役員会・総会 (事業・決算報告, 年度反省, 情報交換) 地生連協だよりNo.6 6 発行

